

菅創吉と 和紙アート を楽しむ 展覧会

「全国和紙ちぎり絵展」第10回大賞
〈唐番〉部分 渡辺 司

〈風の子〉部分 菅 創吉



〈魚洞〉部分 菅 創吉



〈JOY〉部分 菅 創吉

ヘリオス収蔵品展シリーズ

～「全国和紙ちぎり絵展」入賞作品とのコラボレーション～

令和2年 1月17日 金 — 1月26日 日 10時～17時
1月21日(火)休館

南砺市福野文化創造センター アートスペース

入場無料

ワークショップ 1月18日 土 13:30～「新聞でちぎり絵を描こう」

ギャラリートーク 1月25日 土 14:00～「当館学芸員による作品解説」

詳しくは裏面をご覧ください。

【主催・お問い合わせ】南砺市福野文化創造センター

富山県南砺市やかた 100 TEL: 0763-22-1125 HP: www.nantohelios.jp

【協力】一般財団法人 五箇山和紙の里

【後援】南砺市、南砺市教育委員会、北日本新聞社、となみ衛星通信テレビ

「全国和紙ちぎり絵展」第9回大賞
〈彩〉部分 有賀 敬子



菅創吉と和紙アートを楽しむ展覧会

900 点近い当館の収蔵作品を様々な角度でご紹介している定番のシリーズ。当館収蔵作品の多くを占める菅創吉の作品は、様々な画材を用いて制作されています。今回はその中でも和紙を画材にした作品を中心に紹介。また南砺市五箇山の和紙とのコラボレーションとして、五箇山和紙の里にて開催されている「全国和紙ちぎり絵展」の第 1 回から 23 回の入賞作品を紹介します。和紙の多様な表現や、可能性を体感する展覧会です。



菅 創吉 (1905-1982)

姫路市生まれ。33 歳のとき満州に渡り満鉄広報部に勤務しました。戦後は毎日新聞の帰属画家として活動します。53 歳頃から洋画家として高い評価を受けていましたが、58 歳で渡米しニューヨークを中心に旺盛な活動を経て 10 年後に帰国。現地では、作家の表現領域が自由に広く深い事に刺激され、東洋と西洋、具象と抽象を自在に往来した独創的な作品を生み出すなど、ユニークな生き方とメッセージを遺しました。



〈魚洞〉1958



〈夕立〉1958



〈風の子〉1962



〈JOY〉1964



〈風(なぎ)〉1962



〈吹奏者〉1980

全国和紙ちぎり絵展とは

長い歴史と伝統を秘める五箇山の和紙は、文化財補修用紙や提灯紙などの古典和紙から、和紙工芸品やちぎり絵用和紙なども製造し多くの方に愛用されています。本展は、全国からちぎり絵の作品を募集、優秀作品を一般公開し、和紙の普及と和紙産業の振興発展を図るため開催しています。

五箇山和紙

五箇山和紙は八尾和紙、蛭谷紙(びるだんがみ)とともに越中和紙として国に認定される伝統工芸品です。

1. 五箇山和紙の歴史は古く、およそ 600 年ごろ前には、加賀に生糸とともに年貢として納められていました。
2. 昭和 63 年に「越中和紙」と称し国の「伝統的工芸品」に指定されました。
3. 主な原料は、豊富な雪解け水から育まれた自家栽培の楮(こうぞ)。繊維が長く柔らかいので、丈夫でしなやかな、温かみのある和紙になります。



第 6 回大賞 〈機具岩の夕日〉
飴谷 照子 (高岡市)



第 7 回大賞 〈散居村 水田のころ〉
渡辺 司 (富山市)



第 9 回大賞 〈彩〉
有賀 敬子 (富山市)



第 10 回大賞 〈店番〉
渡辺 司 (富山市)



第 15 回大賞 〈ピース〉
菊池 智代美 (高岡市)

【関連展示】 南砺市の小学生が手すきした和紙で制作した「和紙アートコンクール in なんと」ちぎり絵の入賞作品展示

ワークショップ

「新聞でちぎり絵を描こう」

1 月 18 日(土) 13:30～ アートスペース

講師：東 敏子氏(新聞ちぎり絵作家・富山市)
どなたでもご参加ください

(参加費無料、ハガキサイズの作品をつくります)



ギャラリートーク

1 月 25 日(土) 14:00～ 当館学芸員による作品解説

HELIOs

南砺市福野文化創造センター

〒939-1576 富山県南砺市やかた 100

TEL: 0763-22-1125 HP: www.nantohelios.jp



- ・ JR 城端線福野駅から徒歩 10 分
- ・ 南砺スマート IC から 5 分
- ・ 砺波 IC から 10 分
- ・ 小矢部 IC から 15 分